

## Ninja (忍者)

モンゴルでは不法で他人の鉱区内で金鉱石を採掘する小規模鉱夫を Ninja(忍者)と呼んでいる。かつて Ninja はほとんど見かけなかったが、2000 年前後の冷害により家畜を失った遊牧民が、職業を変え Ninja が増加したようである。Ninja のターゲットは金であり、ゴビ地域では砂金のみでなく、剪断帯に伴われる造山型金鉱床から金を採掘している(写真 1, 2)。



写真 1 Ninja が金を採掘しているところ。



写真 2 剪断帯の粘土化部の採掘跡。

忍者の探査能力は驚くべきものがあり、何 10km にわたる広いゴビ砂漠の中で、わずか数 10cm 程度の金鉱脈を見事に見つけ出している。鉱区所有者が現れるとすぐに姿を消すため、Ninja というネーミングはまさに的を得たものである。Ninja はその違法性を認識しているためにあまり人と交流せず、人の良いモンゴル遊牧民の中でも異色の存在である。

忍者は取り締まりから逃れるため、金の採掘現場、鉱石の粉碎所、金の回収所を分別している。金の採掘現場では、高品位粘土脈や石英脈を数人で手掘りで採掘している。粉碎施設は直径 3 m ぐらいの円柱形の容器の中で鉄の車輪を回して鉱石の粉碎を行っている(写真 3)。



写真 3 金鉱石を粉碎している Ninja.

金の回収所では数 m 四方のプールをいくつか作り、シアン溶液を使ったヒープリング法で金の回収をしている。現在モンゴルの公式発表では金の生産量は年間 20t であるが、Ninja の生産する金量もかなりの量にのぼるものと思われる。